

普及現地情報



発信年月日：令和5年(2023年)8月17日
所属名：東近江農産普及課東部
番号：D23007
部門分類：610(担い手育成)
発信者名：野口、平田

令和5年度滋賀県指導農業士会東近江支部 研修・交流会を開催

滋賀県指導農業士会東近江支部の令和5年度第一回研修・交流会を7月25日に開催したところ、指導農業士会会員、JA、市町担当者および当課職員をあわせて22名の参加がありました。

2年ぶりの開催とあって、農業経営支援アドバイザーによる講義、近江米新品種「きらみずき」の試食、新規就農者と指導農業士会会員のは場視察と盛沢山の内容となりました。

まず、農業経営支援アドバイザーによる講義では、「雇用する前に知っておきたい10のこと」と題し、契約内容や雇用保険、退職手続き等について学びました。雇用を考慮しておられる方からは積極的な質問があり、雇用に対する意識を深めることができました。

次に、当課から近江米新品種「きらみずき」の取組紹介と試食を行いました。食べたことが無い方が大半だったため、「きらみずき」の特性を知っていただくことができ、今後の生産振興に繋がる内容となりました。

は場視察では、令和3年に新規就農された湖東こぐま農園の小林佳紫氏のイチゴハウスを訪問し、育苗中の「みおしずく」を視察し意見交換を行いました。また、小林氏は令和3年度にメンター制度を活用し、同品目の指導農業士から技術面、経営面での助言を得ながら栽培されていました。メンター制度を活用した感想や、メリットについてお話を伺い、参加者にメンター制度の概要を知ってもらう良い機会となりました。

最後に、指導農業士である脇坂利則氏の子実コーンほ場を視察しました。栽培方法や出荷先、作付けするメリット等の説明のあと、参加者からは多くの質問があり、子実コーンについての知見を深めることができました。

当課では、指導農業士の方々が担い手の育成と地域農業のさらなる活性化に取り組んでいただけるよう支援していきます。



雇用に関する研修会（座学）



子実コーンほ場視察（東近江市小倉町）